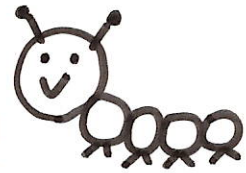


はらへニ!!

あおむしがやってきました!!



- ねらい
- ★ 身近な生き物、自然に親しい
 - ★ 生き物を大切に育て気持ちを育てる
 - ★ 変化に気付く力が観察力を育てる



5月頃から、あおむしを育てはじめました。

初めて見たときは、「はらへニあおむし」の絵本を持って、「いっしょー!!」と喜んでいました。そこから毎日、観察を始め、「さなぎ」→「ちょう」へと姿を変えあおむしに驚いた子、自分なりの言葉で変化を伝えてくれるようになりました。

あおむしがやってきました



あおむしを観察するなり、「なにからがう」ということを発見した子どもたち。さ、あおむしの図鑑をたぐって同じ種類のあおむしを探し始めました。

コレかな??
いや、こっちじゃない??と
友だち同士でお話したり、
ねーせんせいみて!!と
毎朝観察するのが
楽しみで仕方ない様子です。



皮をぬいだ!!

ある日、あおむしが「ふんかくろいのぬいぞう!!」と大発見した子どもたち。ふんといふと脱皮をしている

最中でした!!
一般的にあおむしは4回
も脱皮し、その後さなぎに
なるということがわかりました。



➡ 半分脱皮中。





おへがをきれいに
しあげよう

「いっはいうんちしるー!!」と矢口らせてくれたので... みんなであおむしのあうちをきれいに
しました。あおむしによってうんちの大きさも様々!! 「おっきい〜!!」とびっくり。
はっはを新聞紙の上に出すと、はっはが「ほとんど」はい。〇〇。ということで、

新しいはっはを入れてあげました。

「たくさん食べたんだね〜」や「お腹すいたんちゃう??」と興味津々な様子でした★

すなぎになつたよ

あれ?? たんだかあおむしの様子に変化が...
むしがの壁にひっついて重かなくなっちゃった。
そこから数日... 糸を出し、すなぎになりました。
すると、また「はらへ=あおむし」の絵本を取っ出し、

「すなぎになつてなんにちも〜ねえりまいた〜ぞろ」と歌いながらしばらく眠ることを確認。 //
走りすなはいよいよそと観察することになりました!!



糸 -->
壁 -->

「なんか糸さる!!
からたか!!
こうなってる!!
と体を斜めに
表現してく
れた。」

あ!! ちょうちょ

すなぎになつてからは、まだかなまだかなと毎日
ちょうになつて楽しむにしていた子どもたち。なんと
モンシロチョウ、アゲハ、クロアゲハ... と次々ときれいになつて
に变身してくれました。最後は皆さ逃げがしあげよう!! と... 「はいばーい」「またきね。」



まとめ

- ★ 観察を通じ変化に気づき、自ら図鑑や絵本と重ね合わせ、考えようとする姿が
みられた。
- ★ よそへ、身近な生き物に興味・関心を持つようになった
- ★ 友だちと気づきを共有しながら、一斉に育つことの楽しさを感じることができた